

## ◇証明書に関する困り事について

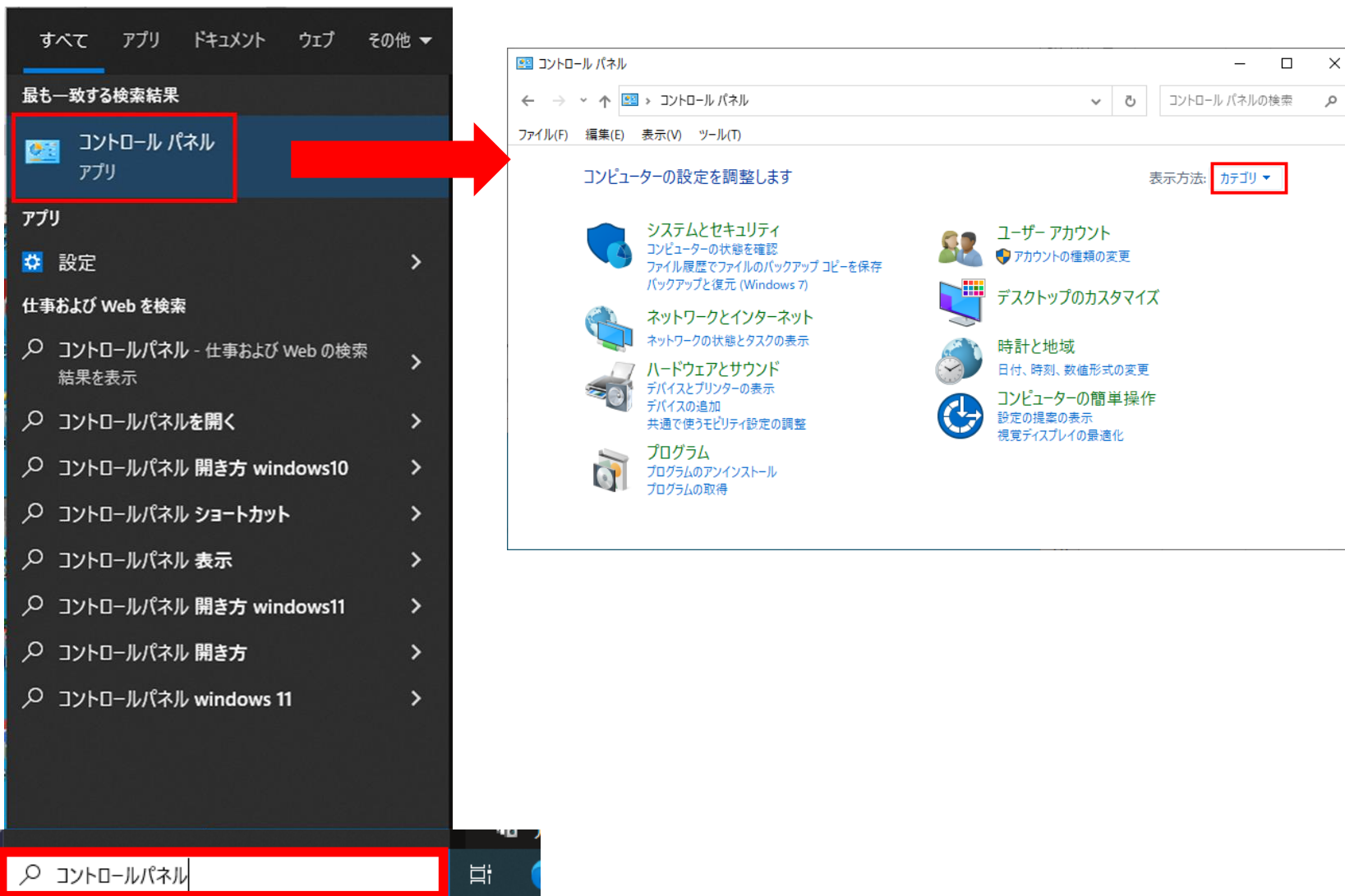
### -目次-

- 1.コントロールパネルの表示方法について(事前設定)→p2へ
- 2.端末特定システム導入の目的と概要について→p3へ
- 3.証明書申請時に使用するMACアドレスの確認方法→p4へ
- 4.証明書をインポートする際の設定方法→p5～8へ
- 5.証明書ダウンロードボタンを押した際のエラー画面→p9～10へ
- 6.証明書が正常にインポートされているかの確認方法→p11へ

# 1.コントロールパネルの表示方法について(事前設定)

タスクバーの虫眼鏡より【コントロールパネル】と入力してコントロールパネルを起動してください。

※コントロールパネルの表示方法で【カテゴリ】を選択します。



## 2. 端末特定システム導入の目的と概要について

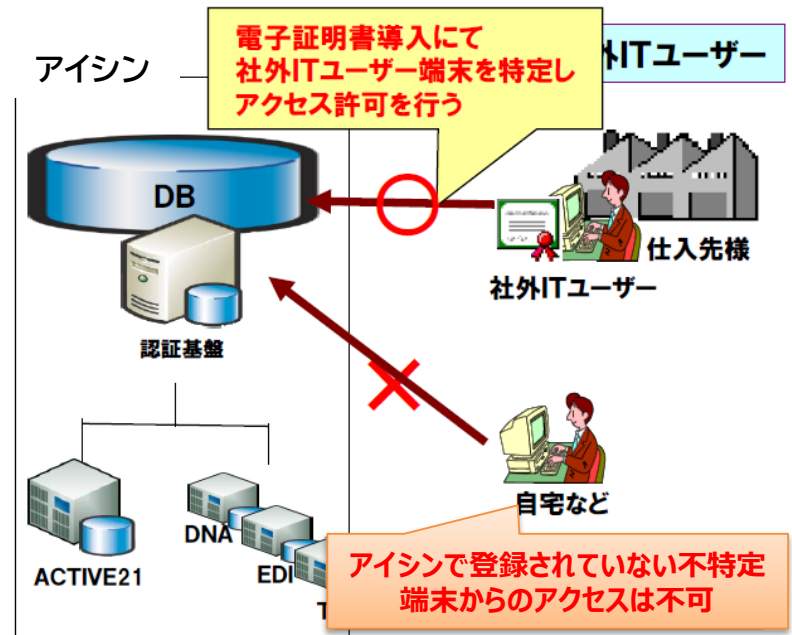
### ● 目的

・取引先会社で使用されている端末以外からのアクセスを禁止することにより情報漏えいを防止します。

不特定端末からのアクセスを禁止し、かつ特定端末のアクセスをチェックすることで情報漏えいのリスクを低減

・証明書をインポートすると、1つのIDに対し特定の一つの端末しかアクセスできなくなります。

下記ケースを確認いただき、業務上支障がある場合は、IDの追加等対応をお願いします。



### 複数のIDで1つの端末を共有



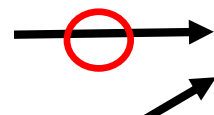
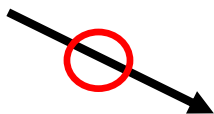
ID : A



ID : B



ID : C



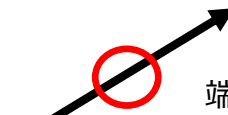
端末 : A (登録済)

システム上問題なし

### 1つのIDで複数の端末を使用



ID : A



端末 : A (登録済)



端末 : B

複数の端末からのアクセスは不可

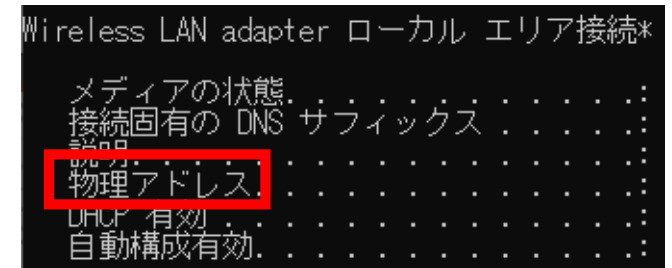
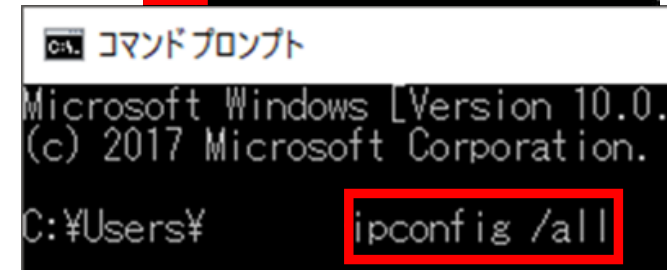
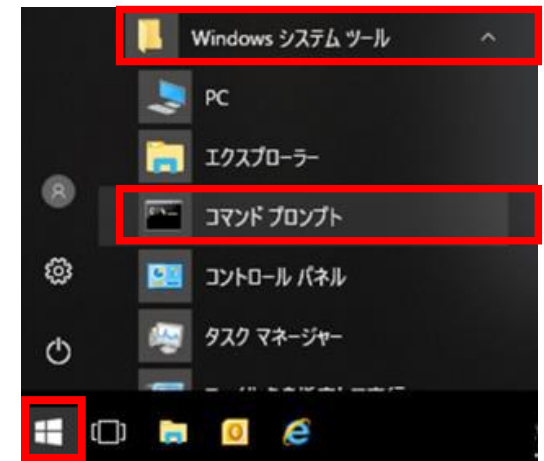
### 3. 証明書申請時に使用するMACアドレスの確認方法

・端末特定を実施するにあたり、  
アイシンに使用端末の情報登録が必須になります。

#### ☆MACアドレスの取得方法

1. 【スタートボタン】→【Windowsシステムツール】を選び、  
【コマンドプロンプト】を起動します。
2. 黒い画面（コマンドプロンプト）が表示される事を確認して下さい。
3. 【ipconfig /all】と入力、Enterキーを押します。  
※ ipconfigと/allの間には半角スペースを入力してください。
4. 【物理アドレス】または【Physical Address】  
で始まる一行を探します。
5. アドレスが「00-00-00-00-00-00-00-E0」以外の  
値である事を確認し、コピーしてください。

※物理アドレスが複数確認できた場合は  
【ローカルエリア接続】のアドレスをコピーしてください。



## 4. 証明書をインポートする際の設定方法

以下のEdge(IEモード)の設定変更をお願い致します。

※弊社システムを起動した状態で設定をお願い致します。

### ・インターネットオプション設定

1.【コントロールパネル】→【ネットワークとインターネット】→  
【インターネットオプション】をクリック

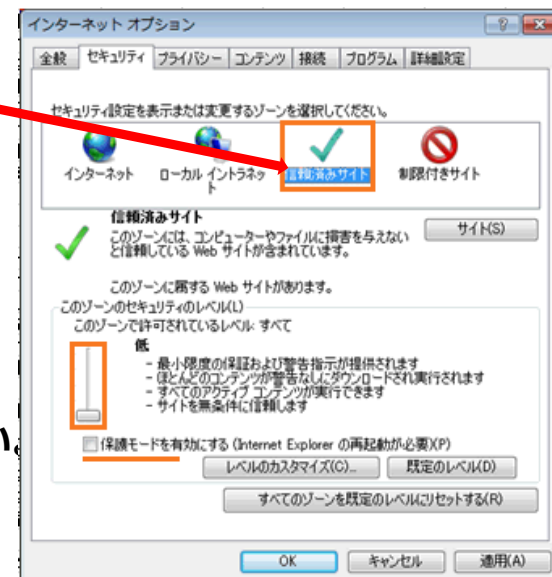
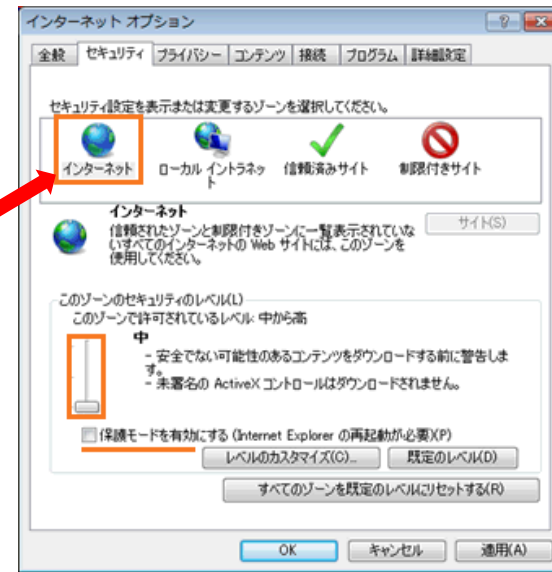
2.【セキュリティ】タブをクリック→【インターネット】  
→【このゾーンで許可されているレベル】を  
一番下に変更

3.【保護モードを有効にする】→チェックを外す

4.【セキュリティ】タブ内の【信頼済みサイト】  
→【このゾーンで許可されているレベル】を  
一番下に変更

5.【保護モードを有効にする】→チェックを外す

※【このゾーンのセキュリティレベル】が  
グレースアウトしてセキュリティレベルが下げれない場合は  
【既定のレベル】をクリックして一番下のレベルまで下げてください。



## ・信頼済みサイトのアドレス登録

1.【コントロールパネル】→【ネットワークとインターネット】→【インターネットオプション】をクリック

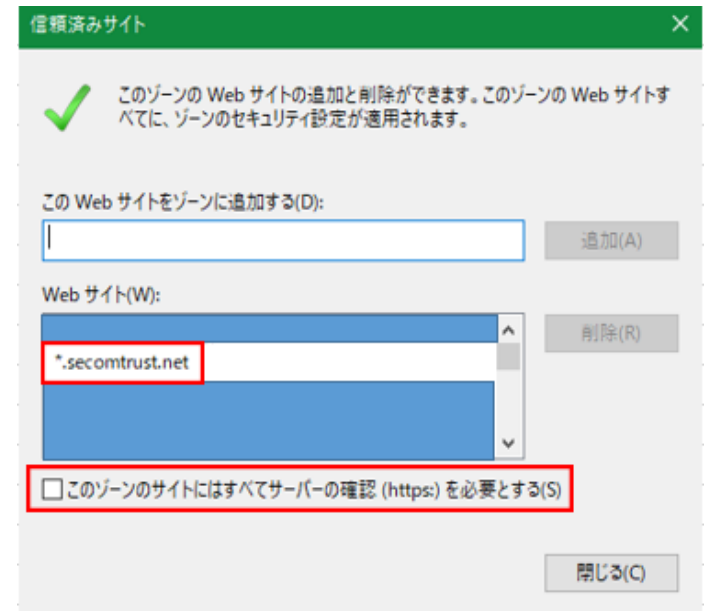
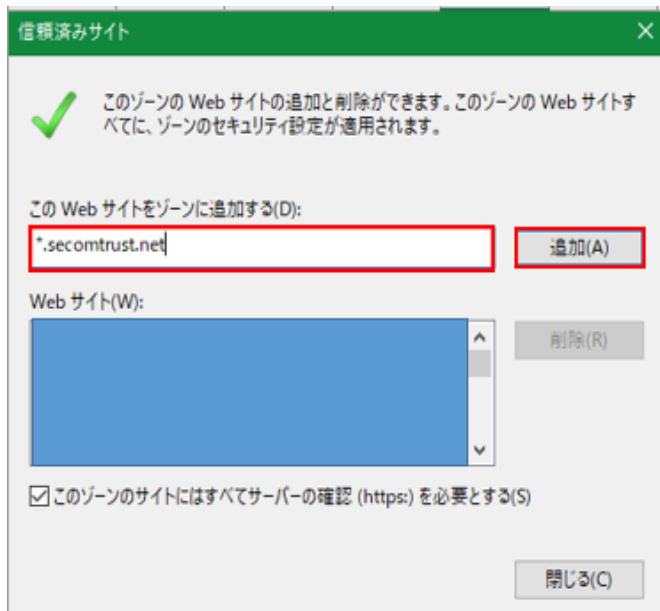
2.【セキュリティ】タブをクリック→【信頼済みサイト】

→【サイト】ボタンをクリックし、以下の二つのアドレスの登録をお願い致します。

\*.secomtrust.net

https://www21.aisin-aw.co.jp

追加後、画面下の【このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https : ) を必要とする】のチェックを外してください。



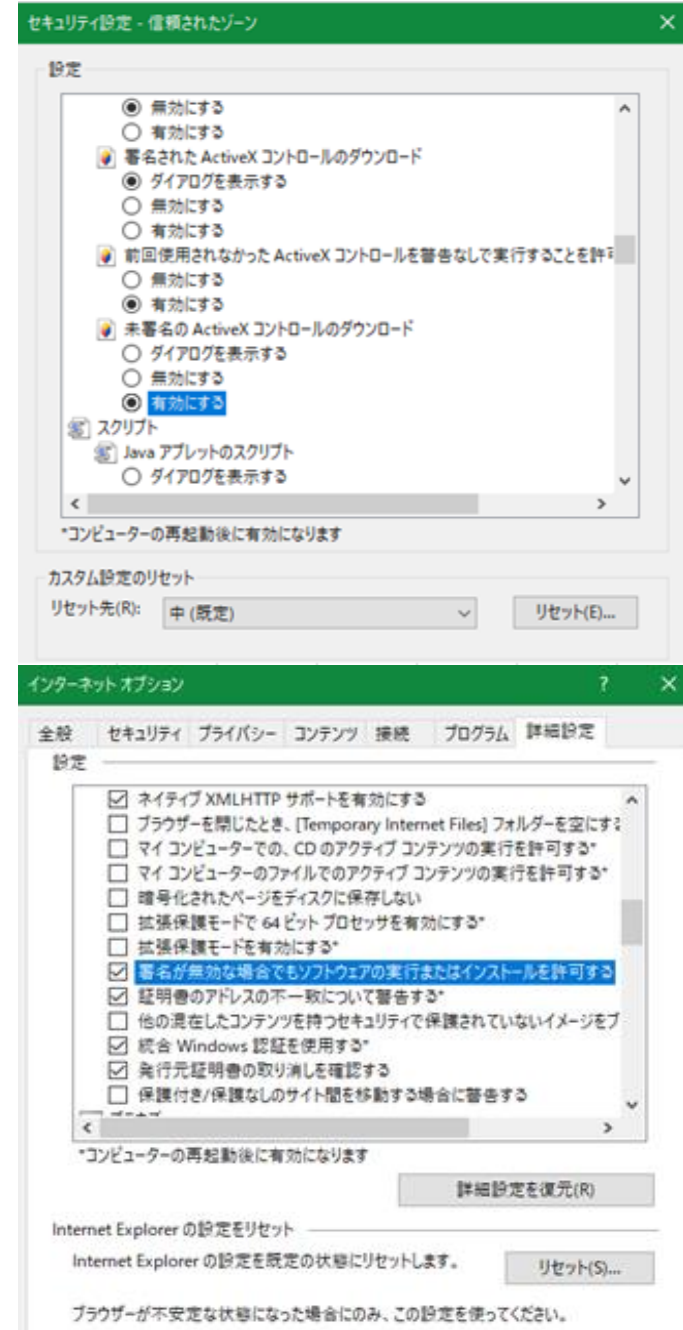
# 【発行元が確認できないため、このソフトウェアはブロックされました】とエラーが表示された場合

## ・未署名のActiveXのコントロール有効化

- 1.【コントロールパネル】→【ネットワークとインターネット】→  
【インターネットオプション】→【セキュリティ】  
→【インターネット】→【レベルのカスタマイズ】ボタンをクリック
- 2.未署名のActiveXコントロールのダウンロード ⇒ 有効にする

## ・詳細設定変更

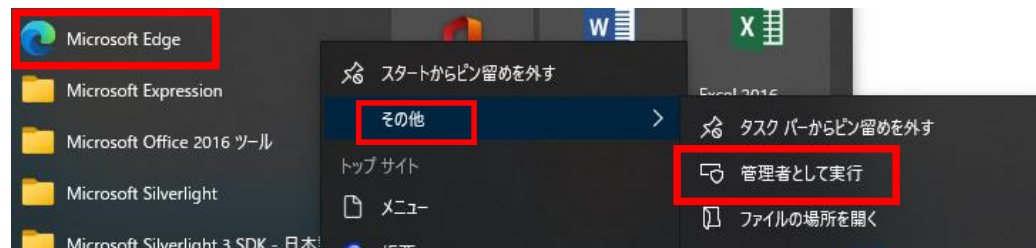
- 1.【コントロールパネル】→【ネットワークとインターネット】→  
【インターネットオプション】→【詳細設定】
- 2.【署名が無効の場合でもソフトウェアの実行  
またはインストールを許可する】にチェック
- 3.PC再起動後証明書がインストールできるか  
ご確認ください。



## <改善が見られない場合>

1. Microsoft Edgeの上で右クリック→管理者として実行で起動  
※ユーザーアカウント制御が表示されたら【OK】をクリック

2. Microsoft Edgeを起動後、証明書  
ダウンロードサイトのURLをアドレスバーに貼り付け  
→Enterキー



3. 証明書ダウンロード可能か動作確認を  
お願い致します。

上記を行っても証明書がダウンロードできなかった場合は

1. セキュリティレベル（インターネットと信頼済みサイトそれぞれ必須）
2. 信頼済みサイトの登録画面
3. 未署名のActiveXのコントロール有効化
4. 詳細設定変更画面
5. ダウンロード失敗時のエラー画面

上記の画面のスクリーンショットをAEGIS受付窓口へ送付していただきますようお願い申し上げます。

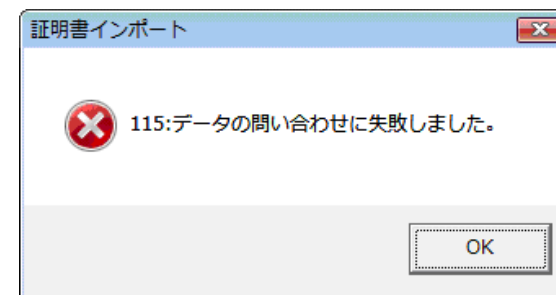
**AEGIS受付窓口** [QandA-Smile@aisin.co.jp](mailto:QandA-Smile@aisin.co.jp)



## 5. 証明書ダウンロードボタンを押した際のエラー画面

・ダウンロードボタンを押下した際に表示されるエラー画面のトラブルシューティングです。

1.ダウンロードボタンをクリックした後、  
『115：データの間合せに失敗しました』  
『215：データの間合せに失敗しました』  
『125：データの間合せに失敗しました』  
のダイアログが表示された場合。



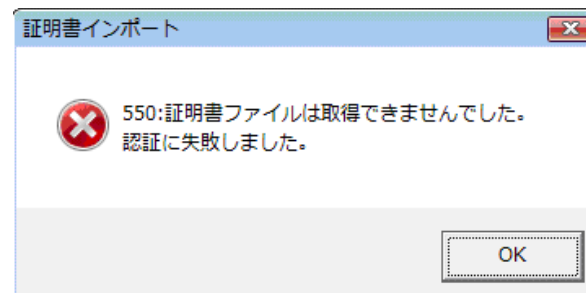
証明書を取得するためのインターネット接続に失敗したときに発生します。  
証明書インポートツールは、次のURLに自動アクセスして証明書等を取得するため、  
下記接続先へのアクセス制限を行っている、上記エラーが発生します。

項番	接続先	プロトコル
1	webra2.secomtrust.net	HTTPS
2	repo1.secomtrust.net	HTTP
3	61.114.186.152	HTTPS
4	61.114.186.157	HTTP

上表の通信を許可するようにネットワークの設定を変更するように  
貴社ネットワーク管理者様へご相談ください。  
(IPアドレス指定の通信も行っております。)

2.ダウンロードボタンをクリックした後、  
『550：証明書ファイルは取得できませんでした。  
認証に失敗しました。』が表示された場合。

申請したPCのMACアドレスと、  
証明書インポートの操作を行なったPCのMACアドレスが  
一致していないときに発生します。  
MACアドレスを申請したPCで操作を行なっても同じエラーが発生する場合は、  
申請したMACアドレスが正しいか確認し、  
弊社AEGIS受付窓口までお問い合わせください。



3.ダウンロードボタンをクリックした後、  
『205：証明書をインポートできませんでした』  
『210：証明書をインポートできませんでした』  
『305：証明書をインポートできませんでした』  
が表示された場合。

ご利用の端末の証明書格納先にアクセス権限が与えられていないときに発生します。

1「C:¥Users¥ {WindowsログインID} ¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Crypto」

フォルダを開いてください。\* 1

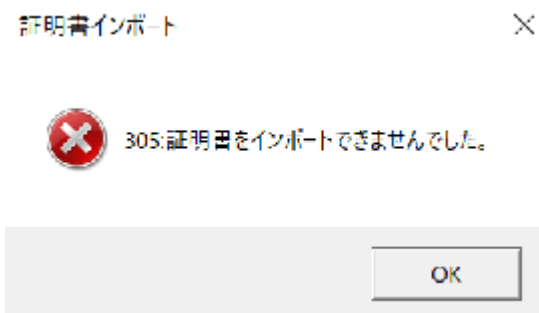
2「RSA」フォルダを右クリックして、「プロパティ」を選択してください。

3「RSA のプロパティ」ダイアログが開きますので、「セキュリティ」タブを選択してください。

4「{WindowsログインID名}のアクセス許可」欄の「フルコントロール」が「許可」になっていることを確認してください。

もしも「許可」になっていない場合は「許可」に変更し、「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

\* 1 アカウント権限の設定により、隠しフォルダになって見えない場合があります。



## 6. 証明書が正常にインポートされているかの確認方法

- ・インポートした証明書が正常にインポートされているのか、手動で確認が可能です。

1.【コントロールパネル】→【ネットワークとインターネット】→【インターネットオプション】をクリック

2.【インターネットオプション】画面の【コンテンツ】タブを選択し、【証明書】ボタンを開きます。

3.【証明書】画面の【個人】タブを選択してください

【発行先】に表示される

『「010」』『仕入先もしくは会社コード（4桁）』『ユーザ I D』  
もしくは『ユーザ I D』がインポートした証明書です。

※有効期限の欄から証明書の有効期限が確認可能です。  
有効期限切れの場合は証明書再発行申請が  
必須となります。

証明書の有効期限は5年です。

発行から5年が経過しますと自動的に無効になります。

有効期限が切れる1ヶ月前から証明書更新メールを送付します。

有効期限が切れる前までに、

メール内容に沿って再度インポート処理を実施してください。

